

ミライアル株式会社

**2021年1月期
決算説明資料**

2021年3月8日



1. 2021年1月期決算概要
2. 2022年1月期第1四半期業績予想
3. 今後の成長戦略概要

- 1. 2021年1月期決算概要**
2. 2022年1月期第1四半期業績予想
3. 今後の成長戦略概要

連結業績ハイライト

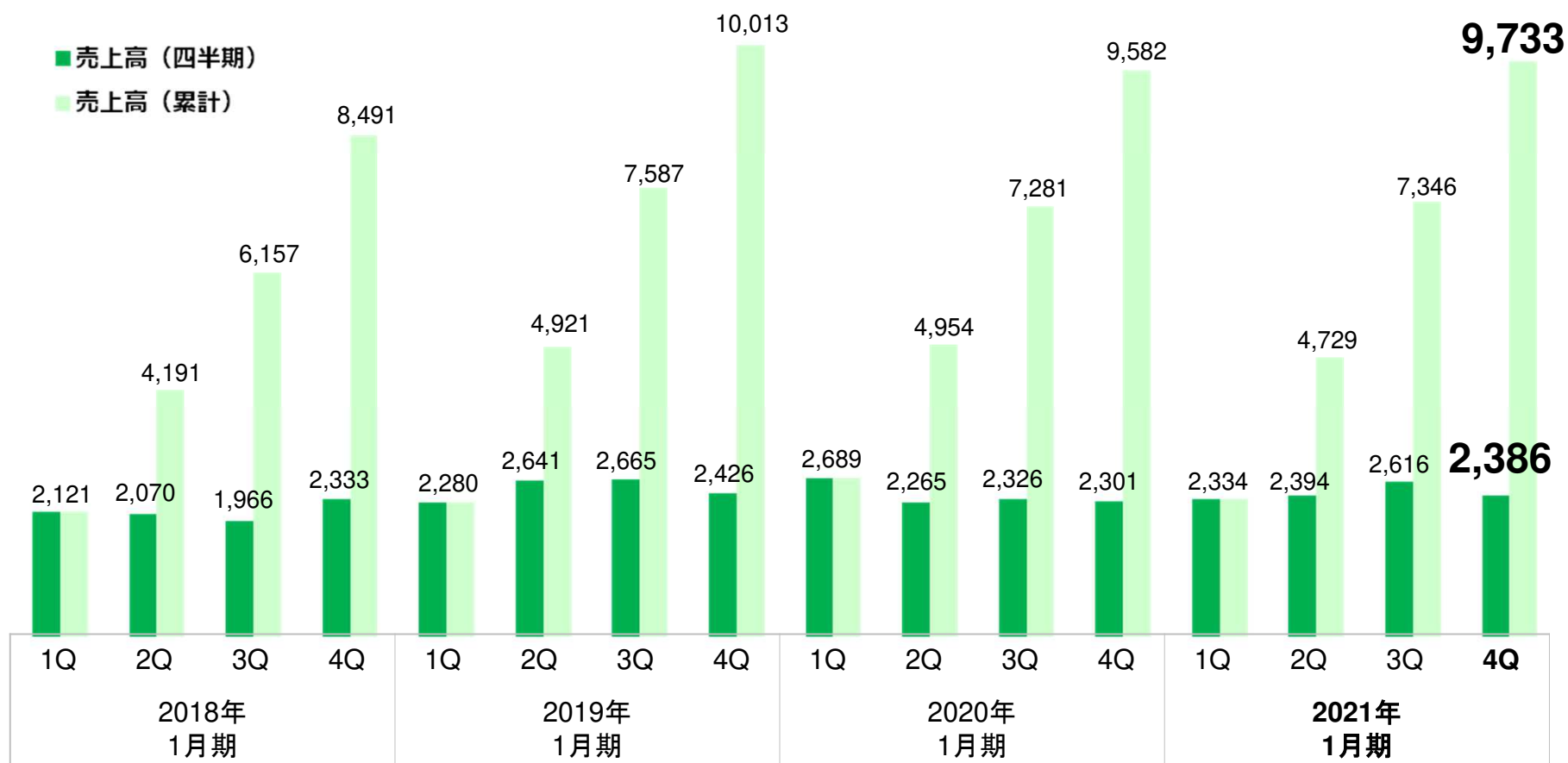
Miraial

売上高	9,733百万円	前年同期比 1.6%増
営業利益	868百万円	前年同期比 30.5%減
当期純利益 [※]	1,009百万円	前年同期比 10.5%増
設備投資額	689百万円	前年同期比 52.2%減
減価償却費	468百万円	前年同期比 14.0%増

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す

連結売上高推移

(単位:百万円)

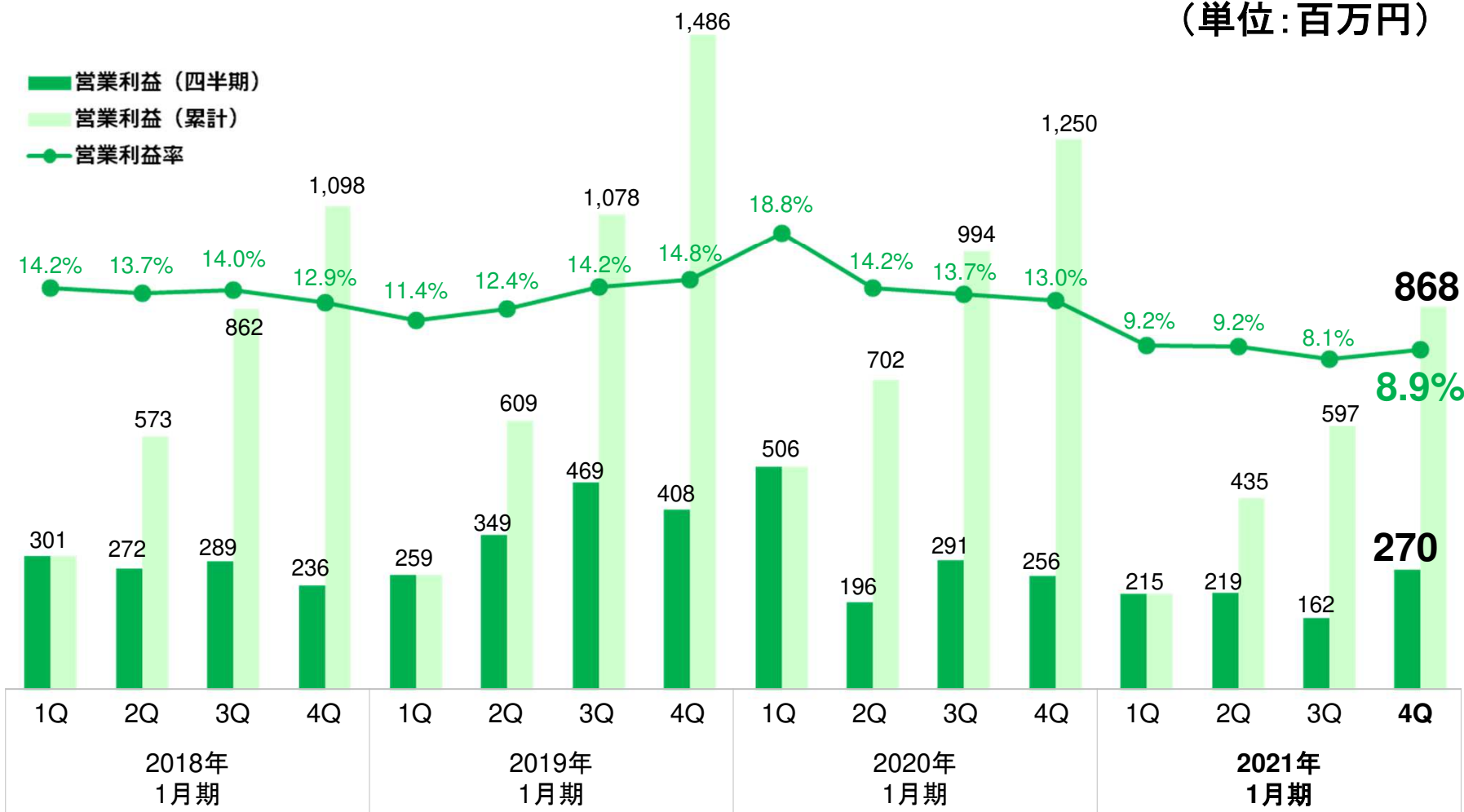


半導体市場は堅調に推移、
成形機市場は設備投資に対する慎重な姿勢が継続

連結営業利益推移

Miraial

(単位:百万円)



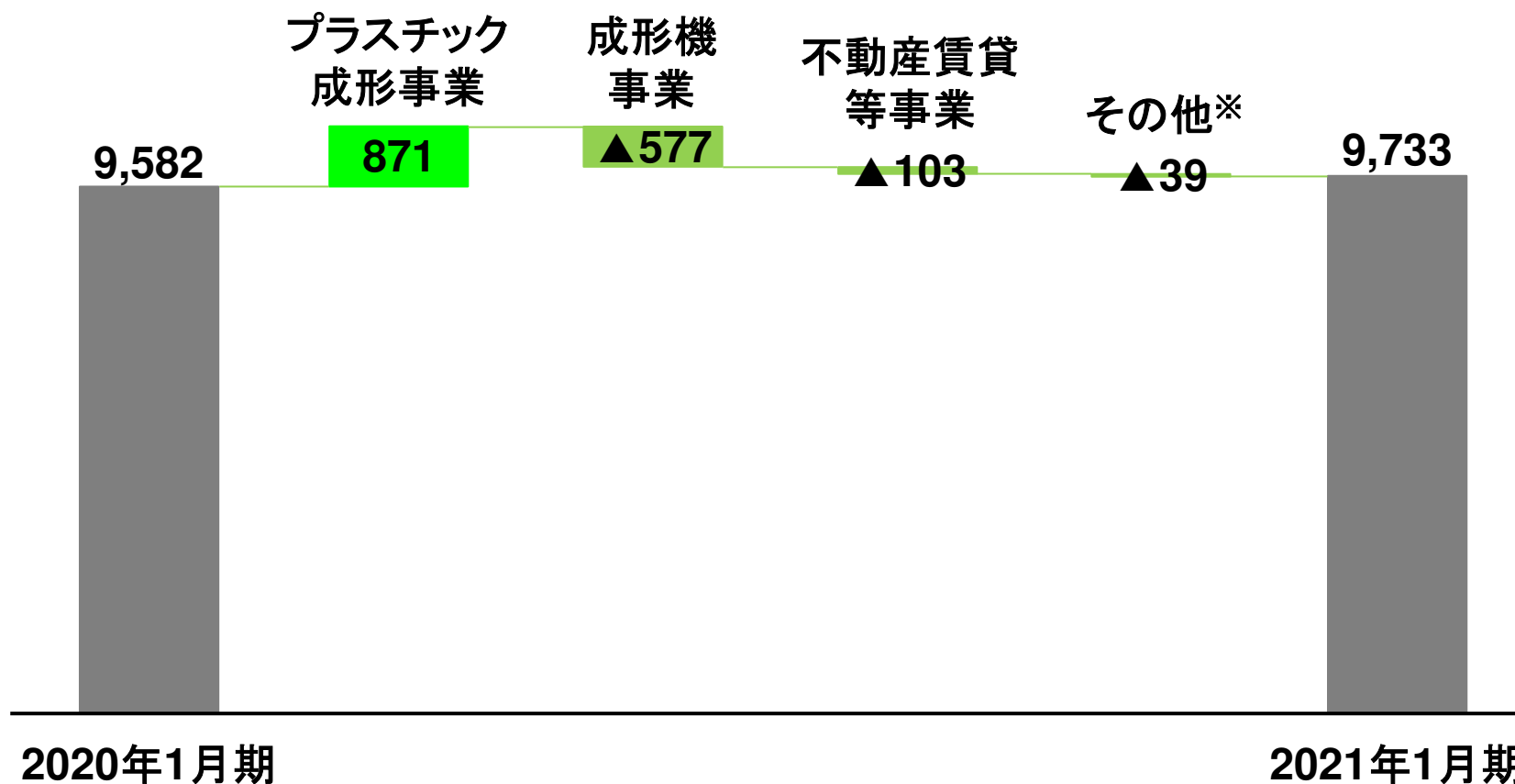
半導体関連製品の品質改善活動の推進、品種構成の変化、
受注拡大に伴う労務費の増加

および成形機受注の低調等に起因し、前年同期と比べて営業利益率が低下

売上高 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)

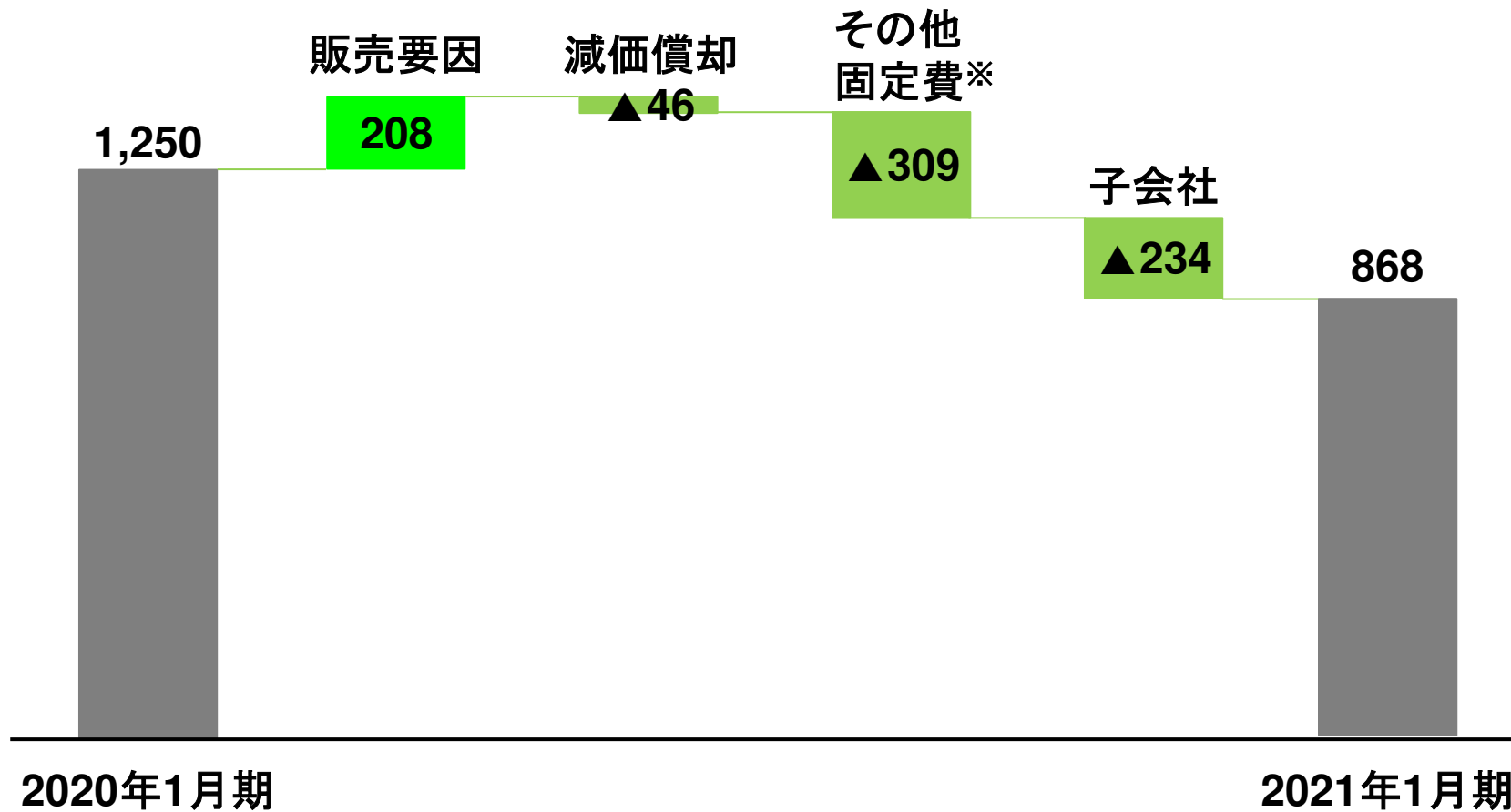


※その他:セグメント間取引消去や報告セグメントに帰属しない費用等

営業利益 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)



※半導体関連製品受注増による一時的な労務費の増加(残業代、派遣労務費)を含む

連結損益計算書

Miraial

単位：百万円	2021年 1月期	2020年 1月期	増減率
売上高	9,733	9,582	1.6%
売上総利益	2,485	2,669	▲6.9%
販売管理費	1,616	1,419	13.9%
営業利益	868	1,250	▲30.5%
営業利益率	8.9%	13.0%	▲4.1 pts
経常利益	954	1,355	▲29.6%
特別利益	722	2	25690.2%
特別損失	87	61	42.0%
当期純利益※	1,009	913	10.5%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す

連結貸借対照表

単位：百万円	2021年 1月期	2020年 1月期	増減
流動資産	15,647	12,432	3,214
固定資産※	7,024	9,685	▲2,661
総資産	22,671	22,118	553
流動負債	2,836	2,146	689
固定負債	809	1,720	▲910
純資産	19,025	18,251	773
(内)利益剰余金	18,192	17,452	739
自己資本比率	83.9%	82.5%	1.4 pts

※固定資産：2020年3月に東北事業所が完成
2020年5月に賃貸用不動産(土地・建物)を売却

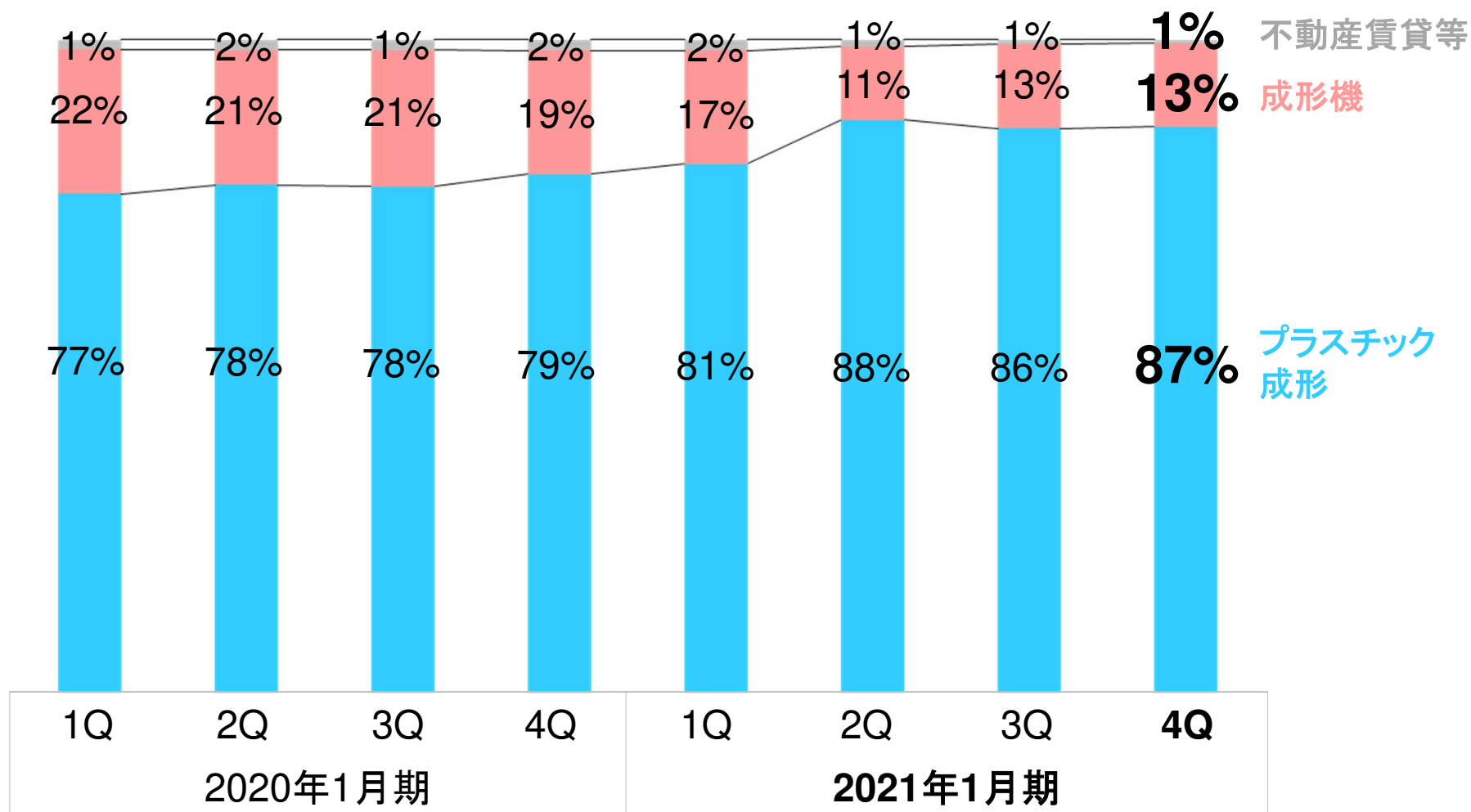
連結キャッシュ・フロー計算書

Miraial

単位：百万円	2021年 1月期	2020年 1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,334	1,372
（内）減価償却前税引前損益	2,057	1,707
（内）固定資産売却益	▲722	▲2
（内）仕入債務の増減額	682	▲781
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,940	▲1,747
（内）固定資産の売却による収入	3,734	2
（内）固定資産の取得による支出	▲836	▲1,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,417	▲382
（内）長期借入金の返済による支出	▲1,125	▲99
（内）配当金の支払額	▲269	▲269
現金及び現金同等物の期末残高	11,151	8,296

	売上高	セグメント利益
プラスチック 成形	8,543 百万円 (前年同期比 11.4%増)	1,230 百万円 (前年同期比 10.5%減)
成形機	1,252 百万円 (前年同期比 31.6%減)	73 百万円 (前年同期比 68.3%減)
不動産 賃貸等	49 百万円 (前年同期比 67.5%減)	25 百万円 (前年同期比 72.8%減)

セグメント別売上高構成比



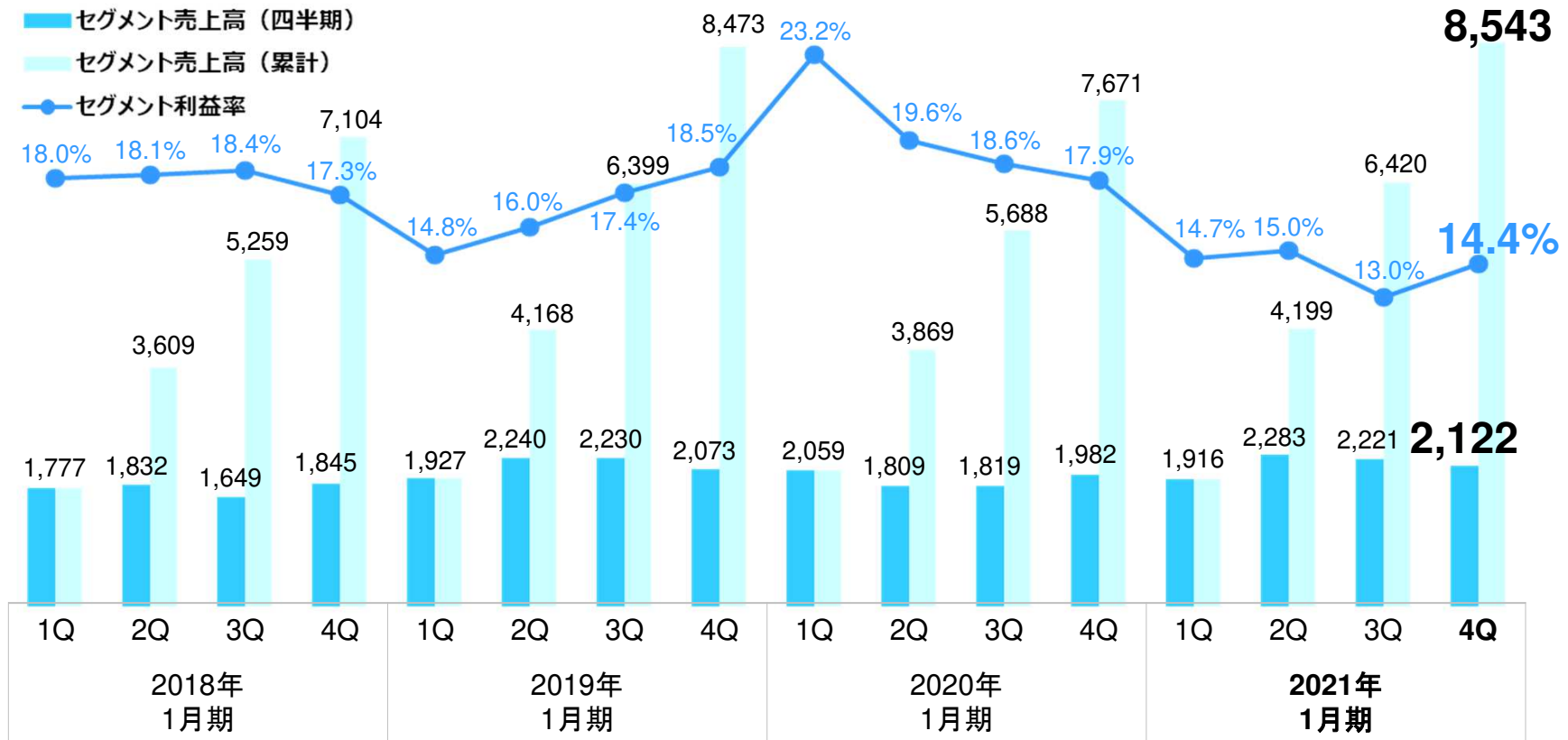
プラスチック成形事業の売上高割合が前年同期と比べて増加

- ・プラスチック成形事業は堅調
- ・不動産賃貸等事業からの撤退、成形機事業の低調

セグメント別業績 -プラスチック成形-

Miraial

(単位:百万円)



半導体関連製品

シリコンウェーハ出荷容器、工程内容器ともに堅調

その他関連製品

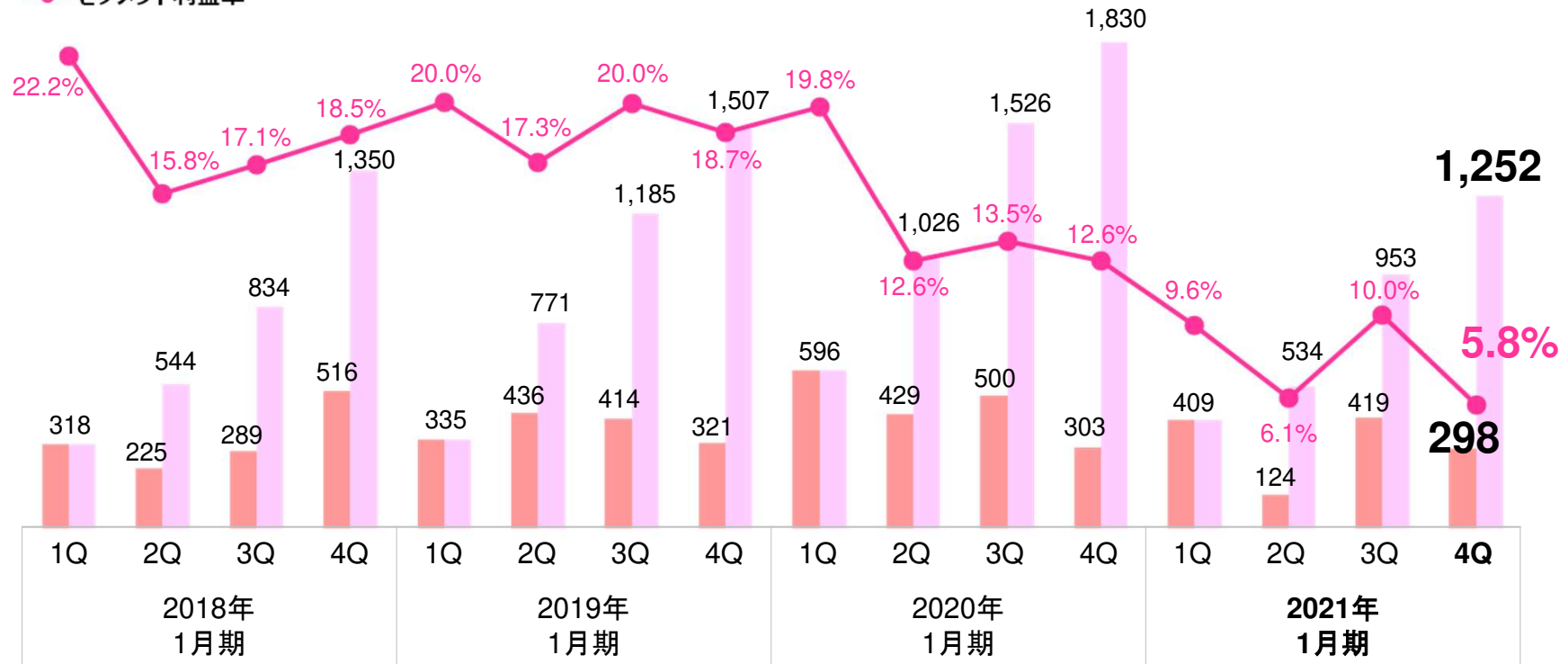
フッ素樹脂製品等、底堅く推移

セグメント別業績 -成形機-

Miraial

(単位:百万円)

- セグメント売上高 (四半期)
- セグメント売上高 (累計)
- セグメント利益率

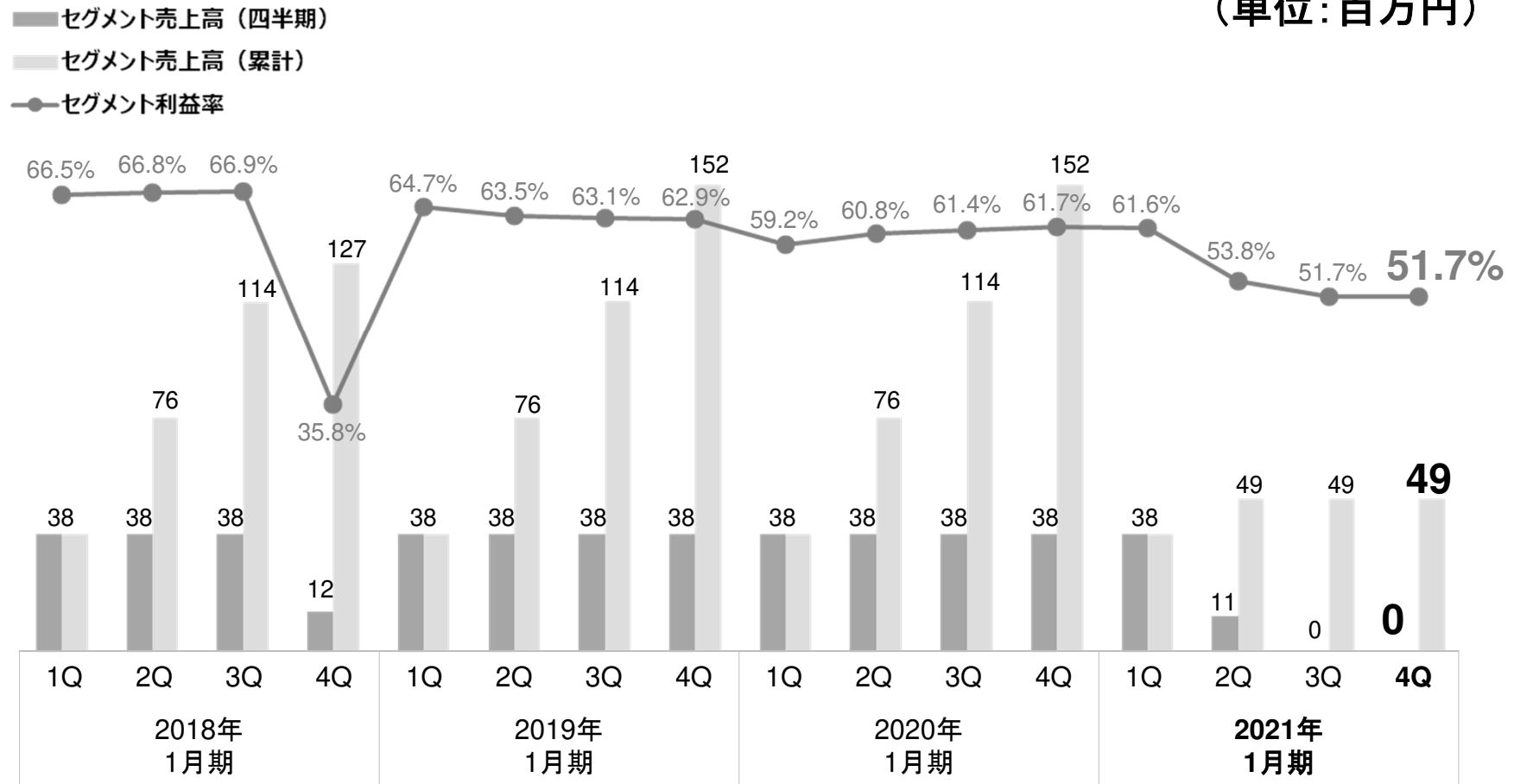


緩やかな回復基調がみられるものの、
依然として設備投資への慎重な姿勢が継続し、軟調に推移

不動産賃貸等事業について

Miraial

(単位:百万円)



賃貸用不動産を5月末で売却、事業から撤退
⇒特別利益**722**百万円を計上

1. 2021年1月期決算概要
- 2. 2022年1月期第1四半期業績予想**
3. 今後の成長戦略概要

2022年1月期第1四半期業績予想

Miraial

単位:百万円	2022年1月期			2021年1月期
	1Q (予想)	増減額	増減率	1Q (実績)
売上高	2,500	165	7.1%	2,334
プラスチック成形事業	2,130	213	11.2%	1,916
成形機事業	370	▲39	▲9.6%	409
営業利益	270	54	25.3%	215
経常利益	285	42	17.6%	242
当期純利益※	185	61	50.4%	123

[配当予想]

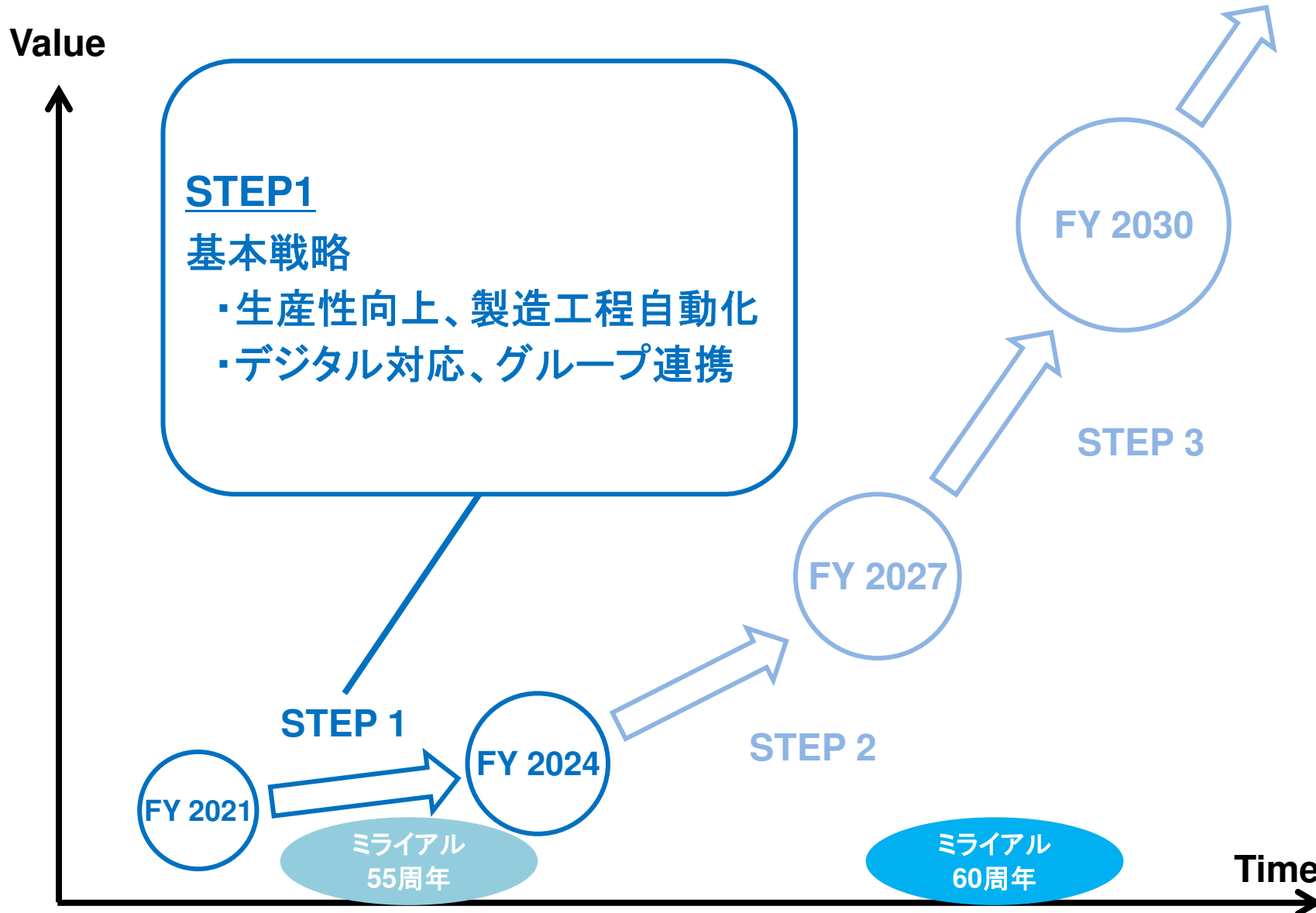
	2022年1月期	2021年1月期
配当金	未定	中間(実績):10 円/株 期末(実績):20 円/株

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す

1. 2021年1月期決算概要
2. 2022年1月期第1四半期業績予想
3. 今後の成長戦略概要

本成長戦略の位置付け

Miraial



※FY 2021は2021年1月期を意味する。

Copyright:2021 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

本成長戦略の骨子

「変える」を楽しもう

KPI

FY 2024
連結目標

営業利益率
15.0%

売上高
130億円

「独自製品」の創造
事業の持続的成長

基本戦略

生産性向上
製造工程自動化

デジタル化推進
グループ連携

事業戦略

プラスチック成形事業

半導体
関連製品

FOSB
FOUP
カセット等

- ・中国市場開拓による顧客拡大
- ・自動化、工程改善による生産性向上
- ・半導体容器新製品の販売

高機能樹脂
その他

- ・新製品開発の加速
- ・新規顧客開拓

その他
関連製品

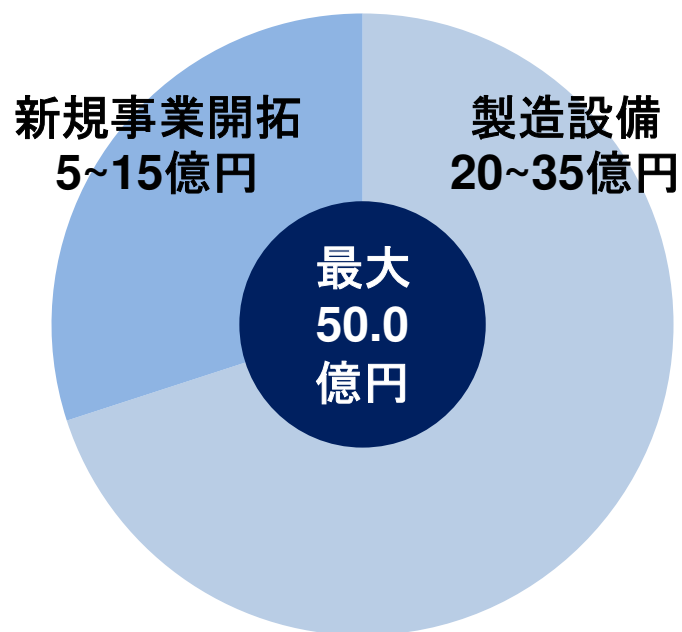
- ・医療、自動車、電子部品分野の開発案件拡大

成形機事業

- ・トランスファ成形機をはじめとした特殊成形機の開発、販売拡大

投資計画

3年間で最大50億円の投資を計画



内容	金額
製造設備 <ul style="list-style-type: none"> ・半導体容器関連 (自動化、増産対応) ・成形機事業 ・デジタル対応 等 	20~35億円
新規事業開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発 ・M&A 等 	5~15億円

中長期の重要業績評価指標

中長期的視点に基づいて企業価値向上に努める

中期KPI

FY 2024 連結目標	営業利益率 15.0%	売上高 130億円	ROE 7.0%
-------------------------	------------------------	----------------------	---------------------

長期KPI

FY 2027 連結目標	営業利益率 18.0%	売上高 170億円	ROE 9.0%
-------------------------	------------------------	----------------------	---------------------

資本効率(ROE)の改善を最重要指標と考え、
本業の売上拡大、生産性向上による達成を目指す。

⇒積極投資により高利益体質の構築(中期・3年)

売上規模を拡大、高ROEを維持する企業体制(長期・6年)

※当社の株主資本コストは8.0%程度と認識

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 管理部

電話:03-3986-3782 FAX:03-3986-3853

E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。